

フリー2位から切り替え

# 畠山(花輪)庄巻の滑り

うれしさと悔しさが半々だったという前日のフリー。2位から、気持ちは切り替わっていた。2位に12秒6差をつける庄巻の滑りで頂点に立ち、「ずっと見たかった景色。気持ち良かつた」。表彰台の真ん中で初優勝をかみしめた。

フリー同様、前半の上りでどれだけ前に進めるかが鍵と捉え、序盤から突っ込んだ。2<sup>回</sup>すきの約300mが続く長い上りでベースタウンしかけたが、要所を踏ん張つて勢いに乗った。グリップを利かすことを意識し、一步一步着実に前進。昨年フリーを制した鎌倉春音（白馬3年）ら優勝候補を抑え、トップでゴールした。（滑りながら（21位だつたという前日のフリー。2位から、気持ちは切り替わっていた。2位に12秒6差をつける庄巻の滑りで頂点に立ち、「ずっと見たかった景色。気持ち良かつた」。表彰台の真ん中で初優勝をかみしめた。



クラシカルで初優勝  
畠山 香恋  
(花輪2年)

つた去年とは違う手心え  
があつた  
全県総体で僅差で敗れた  
山田智子（秋田北鷹3年）

にもリベンジを果たし、  
つと秒差の戦いが続いて  
いて刺激になる存在。今口  
は勝ちたいと思つていな

「うれしい」とほにかんだ。  
2歳上の兄侑也さんの影  
響で八幡平小4年で競技を  
始めて以来、クロスカントリーラン。八幡平中3年時  
の全国大会でクラシカルな一位、フリー1位に輝くなど  
わきまえっこつづけに

光  
榮

前半の上り、勢いに乗る

女子 5  
キロ

長海秋岩花田由一  
「自分の滑りができた」  
○…前日のフリーを制した  
山田智子（秋田北鷹3年生）  
クラシカルでも実力を見抜く

くれたサポートに感謝したい」と語った。

**畔上凜花**

**山田（北鷹）は2位**

女子5キロクワシカルで7位  
の畔上凜花（秋田北鷹3年）  
の話 優勝を狙っていた。悔  
いが残るボクは尽くせ

で臨んだ。今の状態でこの結果を残せて満足。

「**川上千恵（花輪2年）に続いた**2位に輝き「構えずに、自分の滑りができた」と元気な表情だった。

の目標に据えるリレーが控えます。昨年は4位だっただけに、今年は3年生の意地で勝つことを諦めなかった。

レベルで実現したかった。  
悔いのないよう臨んだ

©秋田魁新報社